

女子ベテランクラスが新設！ より参加しやすくなった

来たる 2003 年 11 月 23 日、茨城県那珂町「県民の森」周辺にて今年全日本リレー大会が開催される。今年から女子ベテランクラスが新設され、より多くのカテゴリで日本一を狙って都道府県代表が熱くぶつかりあう。



「那珂川」の山林部分。茨城県北地区を彷彿とさせる複雑な地形だが、比高は小さい。「スピーディなレースが期待できる。」

限定情報はここでゲット！

いよいよ今年全日本リレーオリエンテーリング選手権大会（以下全日本リレー）の要項が発表されました。みなさまご確認いただけましたでしょうか。「まだ見てない」という方は、大会公式ホームページをご覧ください。一般に配布されている一般クラス用要項だけでなく、県協会だけにしか配布されていない選手権クラス（都道府県対抗クラス）要項、さらに初心者向けの併設那珂オリエンテーリング大会の要項も掲載しています。

大会公式ホームページ

<http://www.orientteering.com/~o-map/jroc2003/>

今年の参加規定は？

さて、今回は選手権クラスについてのお話です。来年から競技者登録のルールが変更になり、それに伴って全日本リレーの参加規定も変わります。そして今年はその移行期間ということで、例年とは参加規定が若干変わっています。変わった部分を挙げてみますと、

1. 競技者登録を行った県以外の県からの出場も認める
2. WVクラス（女子ベテラン）の新設
3. 男子クラスへの女子の参加を認める
4. 隣接もしくは同一ブロック内の都道府県による連合チームの参加を認める

といったあたりです。

「1. 競技者登録を行った県以外の県からの出場も認める」は、実質的にはこれまでの大会と変わりません。しかし要項への記載が曖昧で過去何度もトラブルを起こしたことから、今回は要項に明記されました。なお、このルールが通用するのは今年までで、来年以降は競技者登録した県からしか出場できなくなります。その代わりに来年以降は居住地だけでなく、所属クラブ所在地から登録することも可能となるので、より現実に即した形となると思います。

「2. WVクラス（女子ベテラン）の新設」はこれまで活躍の場が与えられなかった女子ベテランに参加機会を与えるものです。45歳以上の女性なら参加できます。チームを組める県がそれほどあるとは思えませんが、「4.」のルールで認められた他県との連合チームを上手く組めば、予想してなかった強豪チームが現れるかもしれません。

「3. 男子クラスへの女子の参加を認める」は、強力な女子選手がいるけど数が足りずにチームが組めない県にとっては使えるルールではないでしょうか。男性チーム自身も数が足りないような県にはもっとありがたいですね。加納尚子選手擁する三重県や、松本和美選手擁する徳島県など、一考の価値があるのではないのでしょうか。

「4. 近隣の都道府県の連合チームの参加を認める」ですが、これについては実行委員会内部でもかなり議論されました。どのようなことが議論されたのか、少し詳しく解説しましょう。

都道府県連合チーム

その前に念のため書いておきますが、全日本リレーのルールを決めるのはJOAです。運営者である我々茨城県オリエンテーリング協会は、JOAの決めたルールには基本的に従うほかありません。ただ主管者の立場から、ルールについて疑問があれば明らかにするようJOAに申し入れましたし、納得できないときは改善を申し入れました。それでも最終的なルールの決定権を握っているのはJOAであり、JOAを動かさない限りルール変更はあり得ないのだということをご承知おき下さい。

さて、この「近隣の都道府県の連合チームの参加を認める」というルールですが、これは単独ではチームを組むことが困難な、地方の県からも出場し易くするような配慮です。こういったルールを設定すべきだという声は全日本リレーが始まった当初からも挙がっており、10年以上もたってようやく認められたのかという感じです。

こういった背景があるので、このルール自体は実行委員会でも特に問題とはされませんでした。ところが全日本リレーにはクラスごとの表彰の他に、各クラスでの獲得ポイントの合計点で争う、「団体総合表彰」があります。そしてJOAの新ルール原案では連合チームのポイントの扱いについてかなりあいまいな表現になっていたため、実行委員会内部で議論が起こり、JOAに改善を申し入れました。そうして追加設定された、連合チームについてのルール（要約）は以下の通りです。

- 4.1 単独チームを組むことが可能な県は、連合チームを組むことができない
- 4.2 ひとつの連合チームを組めるのは2県まで。3県連合チームは組めない。
- 4.3 連合チームには獲得ポイントをそれぞれ1/2ずつ与える。

連合チームの想定

新しくなったこのルールをもとに、いくつか例を挙げて考えてみましょう。

想定1

選手が余ってるA県が、単独チームとは別にチームが組めないB県と連合チームを組む場合。

チーム1：A1 A2 A3 A4

チーム2：A5 A6 B1 B2

回答：A県は単独チームが組めるので、チーム2は出場不可。

想定2

選手がそろっている県Aが、数は足りないが有力な選手を擁する県Bと連合チームを組む場合。

チーム：A1 A2 B1 B2

補欠：A3 A4

回答：A県は単独チームが組めるので、Bと連合チームを組むことはできない。A3, A4を補欠登録しなければ編成可能ですが、それはちょっとあんまりですね。

想定3

A県3名、B県1名の選手がいる場合のポイント計算。

チーム：A1 A2 A3 B1

回答：人数比に関係なく得点の1/2がそれぞれの都道府県に与えられる。

想定4

単独チームを組めない県(C県)の選手が、二つの県(A, B県)と連合チームを組む場合。

チーム1：A1 A2 A3 C1

チーム2：B1 B2 B3 C2

回答：ルールの解釈ではこういったチーム編成も可能ですが、この場合のポイント計算は、JOAからまだ明確な回答が得られていません。



茨城県協会を支える幕内事務局長。古くからのOCADユーザーである氏のおかげで、茨城のパーマネントマップはOCAD化が進んでいます。あまり知られてませんが、茨城県南地区のローカル大会は何年も前からオンデマンド印刷で行われています。

みんなおいでよ茨城へ

新しくなった全日本リレーのルール、いかがでしょうか。正直、「なんでもあり」になったという印象は否めません。「選手権」という看板を重視する方にとっては、ちょっとやりすぎなんじゃと感ずるかもしれません。しかし苦勞して準備している運営者にとっては、参加者が増えることは大歓迎です。これまで多くの人々が地図を作ってきた、茨城オリエンティアの聖地とも言えるトレインを、より多くの選手に楽しんでほしいです。

また今回は、グループクラスを中心とする併設那珂オリエンテーリング大会も用意してあります。代表選手となったババママだけではなく、応援しにきた子供たちやご家族も、同じトレインでオリエンテーリングが楽しめます。会場となる県民の森には、競技エリア外に植物園や鳥獣センターもあり、こちらを散策することも可能です。

家族みんなで楽しめる第12回全日本リレーオリエンテーリング選手権大会に、ぜひお越し下さい。

(小比賀健司)